# 事後評価結果（平成１９年度）

担　当　課：北海道開発局建設部道路計画課
担当課長名：山口　登美男

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業名 | 一般国道２７４号　日高市街 | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 国土交通省<br>北海道開発局 |
| 起終点 | 自：北海道沙流郡日高町字日高<br>至：北海道沙流郡日高町字日高 | | | 延長 | ２．０km |

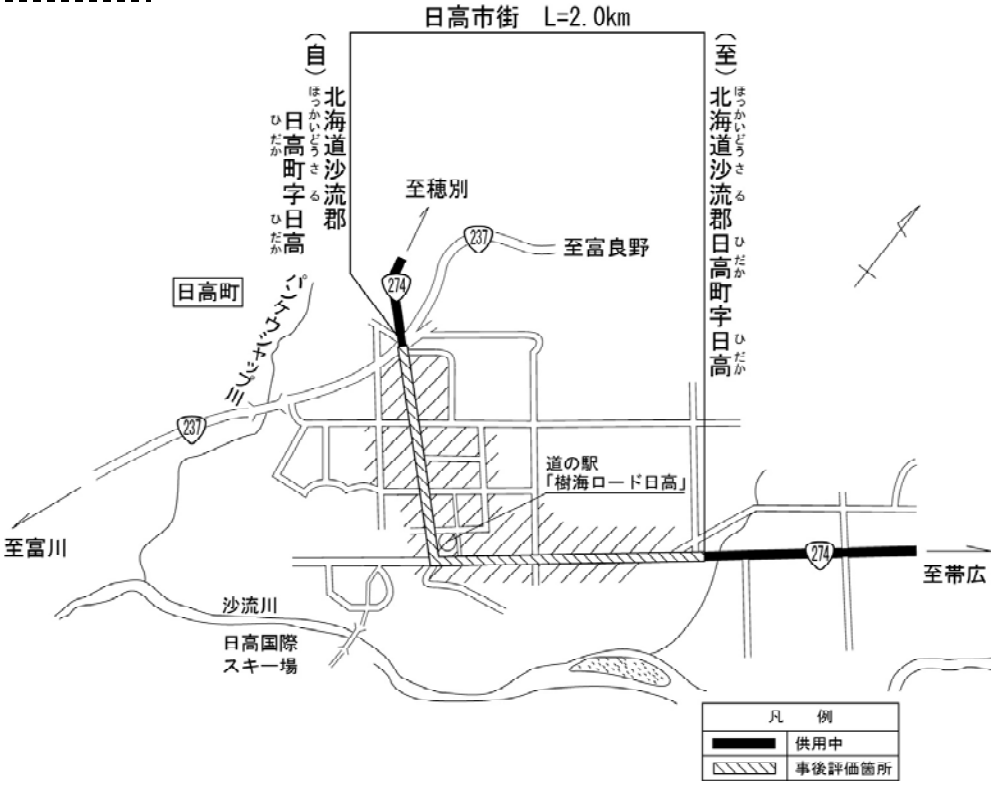
**事業概要**

一般国道２７４号は、札幌市から釧路方面に至る延長約３１８ｋｍの幹線道路であり、道央圏と道東圏を結ぶ物流や観光における重要なアクセスルートとなっている。このうち日高市街は、日高町中心市街地における延長２．０ｋｍの事業である。

**事業の目的・必要性**

日高市街は、道路拡幅・交差点改良・歩道整備により、日高町中心市街地の交通混雑を緩和、安全性の向上を図るとともに、日高市街の街並み景観整備とも連携して快適な沿道環境づくりを支援し、広域交通流動の効率化及び地域活性化に寄与するものである。

**事業概要図**




**事業の効果等**

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業期間 | 事業化年度<br>都市計画決定 | H2年度<br>－年度 | 用地着手<br>工事着手 | H5年度<br>H9年度 | 供用年<br>(暫定/完成) | (当初)－/H13年度<br>(実績)－/H14年度 | 変動 | 1.1倍 |
| 事業費 | 計画時<br>(暫定/完成) | (名目値)　－ / 69.6億円<br>(実質値)　－ / 71.2億円 | | 実　績<br>(暫定/完成) | (名目値)　－ / 66.5億円<br>(実質値)　－ / 68.1億円 | | 変動 | 1.0倍 |
| 交通量<br>(当該路線) | 計画時<br>(供用前現道) | 8,428 台/日 | | 実　績<br>(当該路線) | 8,957 台/日 | | 変動 | 1.1倍 |
| 旅行速度向上<br>(供用前現道→当該路線) | 27.0　→　32.2km/h<br>(供用前年次) H6年度　(供用後年次) H17年度 | | | 交通事故減少<br>(供用前現道→当該路線) | 81.3　→　53.4 件/億台キロ<br>(供用前年次) H6～8年平均値　(供用後年次) H15～17年平均値 | | | |
| 費用対効果分析結果（事後） | B／C<br>１．３ | 総費用<br>９６億円<br>事業費　：　９６億円<br>維持管理費：　０億円 | | 総便益<br>１２６億円<br>走行時間短縮便益：　１２１億円<br>走行経費減少便益：　５億円<br>交通事故減少便益：　０億円 | | 基準年<br>平成１９年 | | |
| 事業遅延によるコスト増 | 費用増加額<br>－４．５億円 | | | 便益減少額<br>４．５億円 | | | | |
| 事業遅延の理由<br>用地取得が難航したことによる。 | | | | | | | | |

| | |
|---|---|
| | 客観的評価指標に対応する事後評価項目<br>●現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）が削減<br>・当該事業の整備により狭小幅員が解消され、交通の円滑化が図られた。<br>【渋滞損失時間の変化】（当該路線）：５８．７千人・時間/年 （削減率）約５割削減<br>●新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果<br>・当該道路に面して整備されH8年に登録された道の駅とのアクセスが向上した。<br>【道の駅利用者数】整備前：２４９千人（H9）→整備後：６５９千人（H18）<br>●農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上<br>・十勝地域の農産品や釧路方面の水産品の札幌、苫小牧方面への輸送のにおける安全性、確実性が向上した。<br>●対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2排出量<br>・CO2削減量　４１０ｔ－CO2／年<br>他５項目について効果の発現が見られる |
| | その他評価すべきと判断した項目<br>特になし |
| 事業による環境変化 | 環境影響評価に対応する項目<br>環境影響評価、対象外事業である。 |
| | その他評価すべきと判断した項目<br>特になし |
| 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | ●人口・産業等の社会経済情勢の変化<br>・旧日高町において、人口は減少している。（値は、合併前の旧日高町のもの）<br>人口　2,451人（H8住民基本台帳）　→　2,053人（H17住民基本台帳）<br>・日高町における観光入込客数は、増加している。（値は、合併前の旧日高町のもの）<br>観光入込客数　451千人（H9北海道観光入込客数調査）→　654千人（H17北海道観光入込客数調査） |
| 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 | 日高市街の整備により、交通混雑の緩和や旅行速度・安全性の向上、物流の効率化など、整備に伴う効果が発現されている。よって、今後の事後評価の必要性はない。<br>また、改善措置の必要性はないが、今後も利用しやすい道路環境の確保に努め、適切な維持管理を実施し、そのコスト縮減に努める。 |
| 計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 | 特に同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性はない。 |
| 特記事項 | 特になし |

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。